

共同企画

田原中部地区景観まちづくり検討会・まちなか賑わいづくり実行委員会・田原市博物館・田原中学校ボランティアクラブ『たはランティア』

## 夏の竹あかり事業について

竹あかり事業は、孟宗竹を加工したオリジナルの竹灯籠を制作し、公共施設やまちなかの店舗などに設置する、まちなか賑わいづくり実行委員会の事業です。

現在、まちなか賑わいづくり実行委員会、田原中部地区景観まちづくり検討会、田原市博物館、たはランティアの4つの機関・団体が連携し、『夏の竹あかり事業』に取り組んでいます。

### ●『まちなかに元気の光を！』まちなか竹あかり事業

昨年度、まちなか賑わいづくり実行委員会が田原中学校のボランティアクラブ『たはランティア』と連携し、約110基の竹あかりを制作しました。完成した竹あかりは、令和2年12月12日（土）に開催されたお披露目式で三河田原駅前に設置され、新型コロナウイルスで賑わいが停滞している田原のまちなかに元気の光を灯しました。



まちなか竹あかりお披露目式の様子（三河田原駅前）

### ●『想いは、つながっている』夏の竹あかり事業

今年8月、たはランティアと田原市博物館が連携し、『想いは、つながっている』をテーマに夏の田原城跡を竹あかりで彩る『田原城跡 夏の竹あかり事業』を実施します。現在、田原中学校の生徒たちが、8月7日（日）に開催予定の『田原城跡 夏の竹あかりお披露目式』に向けて、田原城跡に飾る竹あかりの制作やイベント企画に取り組んでいます。



令和3年5月27日  
博物館の学芸員から田原城の歴史を学ぶたはランティアの様子



令和3年6月24日  
まちなか賑わいづくり実行委員会の指導のもと、竹あかりの制作作業に取り組むたはランティアの様子

### ● 歴史ウォーキングトレイル 夏の竹あかり事業

田原中部地区景観まちづくり検討会では、歴史ウォーキングトレイル（江戸時代から残る田原城跡に続く道）を中心に、様々な修景事業に取り組んでいます。

今年8月、まちなか賑わいづくり実行委員会と連携し、歴史ウォーキングトレイルの沿道に約100基の竹あかりを設置し、田原城跡までの誘導を図る『歴史ウォーキングトレイル 夏の竹あかり事業』を実

施します。

## ● 夏の竹あかり事業に込めた思い

夏の竹あかり事業は、まちなか賑わいづくり実行委員会、田原中部地区景観まちづくり検討会、田原市博物館、たはランティアが、それぞれの得意分野（制作ノウハウ、若さ、地域ネットワーク等）を活かしながら、地域全体を巻き込んでひとつの『夏の竹あかり』を完成させることで4つの団体・機関が成長していく様子を、根で繋がりを栄養を送り合うことで成長していく竹になぞらえています。

夏の竹あかりには、この事業に関わった中学生たちが、将来、この地域にしっかりと根付き、エールを送り合える存在になってほしいという、地域の大人たちの思いが込められています。

### たはランティアとは

たはランティアは、地域社会の役に立つ人材に成長することを目指して平成 29 年度から活動している田原中学校のボランティア団体で、有志の生徒たちによって構成されています。

地域の清掃活動や、まちなか賑わいづくり実行委員会が実施するまちなか賑わいイベントへの協力を主な活動としており、令和 2 年度からは、竹あかり事業に積極的に取り組んでいます。



### まちなか賑わいづくり実行委員会とは

まちなか賑わいづくり実行委員会は、まちなかの賑わいづくりに向けて活動するボランティア団体で、中心市街地内の事業者など 23 名で構成されています。

中心市街地の賑わい創出を目的として、イルミネーション点灯式やまちなか竹あかり等のまちなか賑わいイベント開催事業、ハンギングフラワーや手筒花壇等のシンボルロード花いっぱい事業、幸せの四つ葉プロジェクト事業に取り組んでいます。



### 田原中部地区景観まちづくり検討会とは

田原中部地区景観まちづくり検討会は、景観まちづくりに対する方向性を市民と一緒に検討し、景観形成に向けた事業を様々な実施主体と協働で進めることを目的として、平成 27 年度から活動している組織です。田原中部校区コミュニティ協議会長を中心に、巴江、萱町、本町、新町の町内会長（自治会長）や地区の有志の方々 18 名で構成されています。

景観形成事業として、手筒花壇事業、ハナモモポット事業、軒先ベンチ提供事業などに取り組んでいます。

